

## 第111回『謳粹会』の記

開催 日時 平成19年11月8日(木)

場所 西新宿野村ビル49F [土佐料理 祢保希]

今年の紅葉はあの厳しい酷暑の影響で一週間から10日間程遅れとのことである。清冽な流れの高知の四万十川周辺の紅葉はまだ先のことだろうか。

それでも、札幌の北大構内のイチョウ並木の上空は黄色に染められたと新聞は報じていた。今回の例会は、まあ、このような時期に開催されたのである。

ところで、坂本龍馬は天保6年(1835年)11月15日に土佐藩郷士の家に生まれたとのことである、170年も前のこと。

今回の謳粹会の会場の土佐料理「祢保希」は各地に支店があり、東京でも新宿のみならず、赤坂、丸の内、渋谷など主要地にて営業し、若干グレードが高いと、まあ有体にいえば「ちょっと高いかな」と思わせる店なのであるが、本店は発祥地の高知にある。

高知つまり土佐といえば、言わずと知れた先の坂本龍馬さん、土佐料理店「祢保希」では、龍馬の誕生日11月を祝って、込み込みにて7,000円のサービスコースを提供している。さすが、龍馬、さすが先達者、改革者、龍馬様様である。

部屋は座敷での椅子席、メンバーには古希の者が多いので非常に助かる。

ほんの少しの酒盗、これがなんとも美味しい、甘味があるような磯の香りのするような、塩味というより潮味というべきだろう。

鰹のたたきはさすが、小生の通常食するスーパーものとは、張りから輝きまで違う、新鮮で最上のものを素材にしているのだろう。

しかし、全体的に量が上品と言おうか、少ない、たたきも三切れだったろうか。

このことは「ネボケ」でそうしているのではあるまい、もう少し欲しいなあと思うところで止めるのがコツなのだろう。

酒は土佐鶴、焼酎は海援隊、龍馬、龍馬、龍馬である。

その龍馬さん、議会制度の提唱者として、今の衆議院と参議院のねじれ現象そしてそのための混乱をどう思うだろうかと、ふと考える。



そうそう、木口氏・田中丸氏・若山氏の36年組の三君から新潟のお福酒造「お福正宗」の寄贈があったが、この酒は新酒鑑評会にて金賞を受賞したもので、回し飲みをしているうちに、たちまち空瓶になってしまった、謝、謝，多謝。

また、安井恵子氏からも白神山地の麓、ハタハタで有名な八森の山本酒造「白瀑」が寄贈された、重厚な感じの銘酒であった、有難う。

(31年露木 修記)

### ◎本日の料理

- |        |          |
|--------|----------|
| 一、先付   | 芋のつると酒盗  |
| 一、吸物   | 薩摩芋摺り流し  |
| 一、造り   | のみあら     |
| 一、強肴   | 鰹たたき     |
| 一、焼物   | 秋刀魚ともわた焼 |
| 一、煮物   | 栗馒头      |
| 一、酢物   | メヒカリ南蛮   |
| 一、食事   | 縮めん御飯    |
| 一、デザート | 橙        |

### ◎本日のお酒

- 1、ビール  
キリンビール (瓶)
- 2、日本酒  
\*土佐鶴  
\*お福酒造「お福正宗」(木口氏、田中丸氏、若山氏三君寄贈)  
\*山本合名「白瀑」(安井 恵子氏寄贈)

### ◎出席者

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 大野 金一 (昭31) | 横手 一郎 (昭31) |
| 菊池 清 (昭31)  | 木口 健児 (昭36) |
| 酒井 隆二 (昭31) | 田中丸正治 (昭36) |
| 佐藤 忠平 (昭31) | 君山 宏 (昭36)  |
| 高野 久弘 (昭31) | 広瀬 巳良 (昭40) |
| 露木 修 (昭31)  | 長戸 琴 (昭41)  |
| 中村 信秀 (昭31) | 初田 正雄 (昭41) |
| 中本 青士 (昭31) | 安井 恵子 (昭41) |
| 山田 晴康 (昭31) |             |

以上